

町を緑に!!
公園をきれいに!!
 十月一日より三十日までの一ヶ月間で都市緑化月間です。言葉にして、町推奨の木を植え、観賞用に又防災用に大事に育てたいものです。火事の際木があったために類焼を免れた例もあります。工場等の敷地の周

「空地に緑を」を合言葉にして、町推奨の木を植え、観賞用に又防災用に大事に育てたいものです。火事の際木があったために類焼を免れた例もあります。工場等の敷地の周



**みんなが
しあわせに**

わたしたちのまわりには、病氣やからだの不自由のため、学校や職場にいけない人、身よりのない子どもやおとしよりなど、気のどくな人がたくさんいます。この人たちが少しでもしあわせになるよう、社会福祉の充実を願いながら、心のふれあう明るい地域社会をつくりあげていきま

行政相談所は、本年度は老人クラブを対象に左記により実施されますので、どなたもお気軽に御利用ください。

行政相談所の御利用を

一時より午後三時まで、一、会場 老人憩の家 尚、本町三丁目伊藤三郎さんが行政相談員として活躍されております。

ガス事業は昭和四十年八月供給開始以来昭和四十六年度まで、各年度とも健全なる経営で比較的ゆとりのある財政状態でありましたが、昭和四十七年度は暖冬異常や他燃料との競合等でガス販売量は伸びず、人件費、諸資材費が高騰して支出が多く、一九八千円の赤字となり、昭和四十八年度は原料となる天然ガス(石油資源開発株式会社より購入)の価格が六月一日より二二・八%引き上げられましたが、ガス料金の値上げをしないで、諸経費の節減、職員一人退職したが補充しない

等企業努力によって補ってきましたが、一、〇二〇千円の赤字を生じ、昭和四十九年度はガスの販売量が昨年度に比べ二一%と大きく伸びました。石油ショックの余波のため、あらゆる面で経費の支出が、収入を大きく上廻り、一〇九千円の赤字となり、三ヶ年の累積赤字は三、一七二千円となり、ガス事業の財政は苦しい立場にあります。これに代わって原料である天然ガスの価格が七四%という大巾な値上げが決定的となつたため、どうしても値上げをせざるを得なくなりま

した。そこで町ではこの苦しい経営を打開していくために、その内容を検討していただくべく、このたび通産大臣に下記の料金改訂を含むガス供給条例の変更を申請いたしました。追って厳しい業務監査を受けることも町議会の承認通産大臣の認可を経て、ガスを値上げすることとなり、但し、町民のみならず企業経営は独立採算制が原則であるという点を充分ご理解ご認識いただき、ご協力くださるようお願いいたします。

天然ガス購入価格の改訂とガス料金の改訂(申請)

※単位[万キロカロリー1立方メートル当り]

	天然ガス(石油資源開発)の購入単価	ガス料金の平均単価
現行	12円55銭	38円62銭
改訂(申請)	21円83銭	56円03銭
値上げ率	74%	45%

公聴会においての申請が必要で

ガス料金値上げに関する条例の変更について、公聴会が開かれます。そこで意見を述べたい方、あるいは公聴会を傍聴したい方は、どうぞお申し込みください。

◇公聴会の日時

十月二十九日(水) 午後二時三十分から

◇場所 小須戸町中央公民館

◇陳述・傍聴の申込先 東京都千代田区大手町 一三三三 大手町合同庁舎第三号館 東京通産産業局公益事業部公益事業課

◇申込期限 十月十八日(土) 到着分

◇申込方法 【陳述希望】 B5判の用紙に住所・氏名・職業・陳述の内容を記入して前記へ【傍聴希望】 官製往復はがきに住所・氏名と「小須戸町ガス供給条例等変更に関する公聴会の傍聴」と書いて前記へ【申請書をお見せします】 通産産業大臣に提出したガス料金に関する申請書の写しを企業課でお見せします。自由にご覧ください。

45%の値上げを申請中

申請が必要で

町民運動会

戸籍の窓

町民運動会

戸籍の窓

行政相談所

町民運動会

戸籍の窓

町民運動会

献血車 『ゆうあい号』がきます

とき 10月28日(火)
 ところ 役場前 AM 10:00~12:00
 丸山メリヤス前 PM 1:00~3:00

入札結果
 日付は完了予定日

一、防雪施設(消雪パイプ) 横川浜地内 八百三十万円 本間組 (五十一年一月二日)

二、公営住宅建設工事 横川浜地内 四百五十万円 吉田建設 (十一月二十六日)

三、公営住宅給排水衛生ガス設備工事 横川浜地内 三百八十五万円 藤崎兄弟商会 (十一月二十六日)

四、公営住宅構内道路工事 横川浜地内 三百五十万円 吉田建設 (十一月二十六日)

五、横水児童遊園建設工事 百五十万円 高峰建設 (十月三十一日)

町民運動会
 期日 10月5日 9時
 場所 中学校グラウンド

戸籍の窓

運転の免許証は、交通ルールを守り安全運転をするという誓約と人格的にその資格があるという大前提のもとに交付されています。この大前提は他のドライバーや一般歩行者の人達との間の黙約であります。すでにご存知の方もおられると思いますが、当町はワースト6位という悪い結果が出てしまいました。ワーストとは、免許人口千人当たりの人身事故率。つまり、



「交通事故は悲惨である」という正しい認識があつてはじめて私たちは死者何人、重傷傷者何人という数字のかげにある人間の悲しみや恐ろしさをおしはかり、身をもって安全運転を実践することができ、いや絶対にやらなければならぬのです。

●急ぐほど減らす燃料
 ●増す危険
 ●手をかそうちっちゃな子どもとお年寄り
 ●飛びだすな あの道
 ●その道 交差点

町民運動会